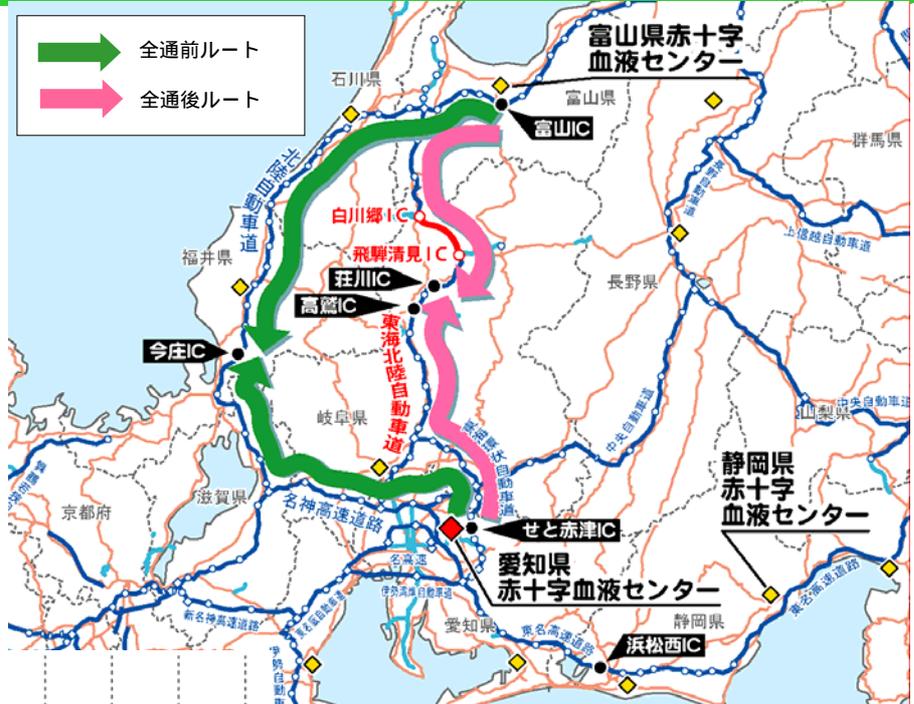


2-3. 医療の高度化促進（高速道路ネットワークを活用し中部8県の血液需給調整を確立）

- ・愛知県赤十字血液センターを中心に8県<富山・石川・福井・長野・岐阜・静岡・愛知・三重>で各病院への血液の安定供給に、東海北陸道を介した高速道路ネットワークが活用されています。
- ・愛知 - 富山間の連携においては、東海北陸道全通後、北陸道経由から東海北陸道利用に完全移行し、輸送時間が約50分短縮しました。

高速道路ネットワークを活用し中部8県の血液需給調整を確立

夏場の県間連携頻度は、月1～2回。
冬場は需要が増える傾向。
暫定2車区間の4車化を要望。



50分短縮

◆ 基幹血液センター (愛知県赤十字血液センター)
◇ 愛知県赤十字血液センターの管内血液センター

愛知センター～富山センター間の所要時間差

道路時刻表(H19)より算出、開通区間は規制速度70kmで計算

事例 万が一に備えた血液補充

富山県下において、A型の赤血球製剤を大量に使用する症例があり急激に在庫量が減少したため、愛知センター在庫から400mL献血で40人分相当の赤血球製剤を補充することとした。



全通前の名神・北陸道ルートから転換し 時間短縮

事例 緊急手術のための血液輸送

富山県にて血小板製剤B型の手術使用があり静岡県から急遽搬送を行った。(長距離のため間に愛知センターが入り、中継を行った。)



全通前の名神・北陸道ルートから転換し 時間短縮